

ハラール認証 目的化に警鐘

琉銀が相談会

琉球銀行（金城棟啓頭取）は5日、那覇市のりゆうぎん健康会館でマレーシアやインドネシアなどのイスラム諸国への事業展開を検討する県内企業に対し、個別相談会を開いた。

ハラール認証機関のマレーシアハラールコーポレーションのアクマル・アブ・ハッサン代表が、イスラム諸国の経済情勢やイスラム教の戒律を守

っていることを証明するハラール認証取得の手続きなどを説明した。



イスラム諸国への事業展開を検討している企業の担当者にアドバイスするアクマル・アブ・ハッサン代表（右） 5日、りゆうぎん健康会館

アクマル代表は「ハラール認証は、イスラム市場開拓のためのパスポート。認証があるからビジネスが軌道に乗るとは限らない」と述べ、認証取得のみを目的にする取り組みに注意。マレーシアの首都クアラルンプールは華僑が4割を占めているとし、「基準の厳しいハラール認証を取得しなくてもビジネスは可能だ。できることから始めた方がいい」とアドバイスした。

参加した県産農作物の卸売業者は「将来的には、経済成長が続くイスラム圏に市場を広げたい。輸送コストが高いなど課題はあるが、今から取り組みたい」と話した。